

地域住民招き芋煮会

栗ノ木道路の円滑推進で



小林組（本社・新潟県阿賀野市、小林孝社長）は昨年暮れ、同社が携わる国道7号栗ノ木道路事業（事業者・北陸地方整備局新潟国道事務所）の円滑な推進に向け、地域住民を対象とした芋煮会を開いた。工事情報提供施設「コミュニケーションBOX」のオープン（15年8月22日）以来、2度目のイベントだったが、積み重ねてきた親交のかいあってか大盛況。天候にも恵まれ、

参加者は楽しいひとときを過ごしていた。写真。

小林組

12月26日に開かれた芋煮会には、親子連れを中心に約70人が足を運んだ。芋煮の具材は、会場となったコミュニケーションBOXに隣接する「栗ノ木農園」で栽培した自社製の無農薬野菜を

使用。晴天ながらも、冬の寒さが厳しい時期だけに、優しく、温かい食事が心身を和ませている様子だった。また、地域住民か



阿賀野市のイメージキャラクター「ごずっちょ」も訪れた。

ら工事に関する質問が挙がり、工事関係者の説明を通じ、「コミュニケーションBOX」を深めていた。おみやげ用の野菜（大根、白菜）やお菓子（ポップコーン、わたあめ）を用意したほか、阿賀野市のイメージキャラクター「ごずっちょ」も訪れ、子どもも大人も終始笑顔に包まれていた。

小林組は、国道7号栗ノ木道路事業のうち、栗ノ木道路地表道路改良その2工事と同栗ノ木川付替その4工事を施工。「三方良しの公共事業改革」の考え方に基づいて、コミュニケーションBOXの設置を始めとする各種取り組みを展開している。

